



緑区地域福祉計画推進協議会だより

みどりのきずな

第6号

平成20年10月1日発行

編集：緑区地域福祉計画推進協議会広報部会

発行：緑区地域福祉計画推進協議会事務局

千葉市緑区鎌取町226番地1

(緑保健福祉センター 保健福祉サービス課内)

TEL 043-292-8142 FAX 043-292-8276

【緑区地域福祉計画 基本理念】

『区民一人一人が手を結びあい、心あたたまる地域の活性化をめざし、住みよいまちを創造していく』

< みどりのきずな 第6号「旬」な話題と耳寄り情報！ >

地域のさまざまな活動を紹介！ 情報をお待ちしています！！

平成二十年度地域福祉計画 推進協議会推進に当たって

「人と人」「地域と地域」の

「縁」を大切にしたい推進を

委員長 岡本博幸

「縁」とは「つながり」を意味します。糸は絡み合い、ねじり合わされて様々な糸ができあがっていきます。時には結び目ができたり、絡ませる糸を増やしたりし、太く丈夫にし、長くしていきます。このことは、「人と人」との繋がりとよく似ています。「縁」の付く言葉で思い出されるのは、「縁側・縁台・縁日」があります。

「お茶が入りましたよ。何も無いけどお茶飲みに来ませんか。」と、声がかかると三、四人と集まっては、縁側や縁台に座りお茶を飲みながら、そこではとりとめもない話で声が弾み、笑い声が響きあっていました。こんな光景は、ついこの間の事のように思われます。この場は、情報の交換、発信、仲間の支援、協力、助け合いのコミュニケーションの場でした。

しかし、このコミュニケーションの場である「縁台・縁側」がなくなってしまう。家は、個のプライバシー尊重、防犯等のため近代的な家と変貌してきました。尋ねるときには、「ピンポン」と呼び鈴を押さなければなりません。鳴らすと「機械と機械」の対話が始まり、「声と声」「顔と顔」の対話がなくなってきました。これでは「縁」を作ろうとしても作ることはできません。振り返って見ますと「縁台や縁側」は地域社会で大きな役割を果たしていたと思います。

「縁日」もそうです。「縁日」は、地域の神社寺院で特別の縁がある日として、この日大切にしています。参詣に当たっては、「家族の健康安全・病氣回復・豊作の御礼・様々な縁のつながり」についてお願いし、大きな功德が得られるように願ったものでした。境内にはたくさんのお店やさんがでており、子どもたちにとっては楽しみの一つでした。家族にとっては、触れ合いの楽しいひとときでした。これも地域コミュニケーション

の場であり、縁を結び合う場所でした。

地域福祉計画推進協議会は、この皆さんの「縁」ができる地域社会を目指して活動を進めたいと思っています。推進に当たっては、各委員が平成十八年発行された「緑区地域福祉計画」の原点を振り返り、具現化の見直し、基礎データの収集、実態を把握し、問題課題の再確認をし、その上につけて各地域が特色ある活動を推進できるよう支援、協力を図って行きたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。

あいさつ中の岡本委員長



福祉情報プラザ

「緑区ふるさとまつり」

恒例の「緑区ふるさとまつり」が、十一月二日（日）午前十時から「昭和の森」で開催されます。（雨天中止）

当日は、ステージ上での催し物をはじめ、スポ・レクコーナー、行政コーナー、こどもコーナー、出店コーナーなどがありますので、ふるってご参加下さい。

※都合により日時・内容が変更になる場合があります。



「第十四回ふれあい福祉フェスティバル」開催！

あすみが丘に集おう！「やさしさ、ふれあい、思いやり」を開催テーマに、『第十四回ふれあい福祉フェスティバル』が開催されます。

地域で自分らしく安心して暮らせる幸せをかみしめ、住民や障害者がたのしみながら地域福祉や環境を考えるイベントです。太鼓やギターの演奏、吹奏楽、コーラス、踊りと主演者は多彩です。皆さんも是非参加してください。

場所 あすみが丘バースモール

ル（土気駅南口すぐ）

日時 十月十八日（土）、十九

（日）十一時～十六時

お問い合わせは事務局まで

二九四―九五一一

ふれあいフェスティバルの様子

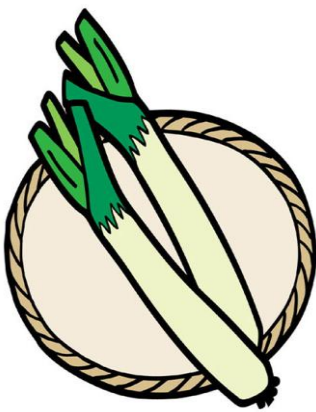


ねぎの香りが疲労回復に効く

ねぎ独特のにおいの元、硫化アリルは体内にとどまってビタミンB1の吸収を高め、糖質の代謝をスムーズに行う働きと、疲労回復の効果があります。

また神経を鎮めるリラックス効果も期待できるそうです。にんにく、たまねぎ、わけぎ、万能ねぎ、にら、らっきょう等もねぎの仲間で、何れも硫化アリルを含んでいます。でも硫化アリルは水に溶け出しやすいので、水にさらす時は短めに。

さらに硫化アリルの効果を期待するなら、火を通すよりも生で食べる方が効果的なので、例えば炒め物にはねぎの小口切りをたくさんめせたり、薬味としてたつぷり添える等、有効に使ってみましょう。



「千葉市民体育祭」

誉田地区

誉田小学校 十月五日（日）

※雨天の場合

十月十二日（日）

平山地区

平山小学校

十月二十六日（日）

※雨天の場合

十一月三日（祝）

椎名地区

椎名小学校 十月十二日（日）

※雨天の場合

十月十三日（祝）

土気地区

越智中学校 十月五日（日）

※雨天の場合

十月十三日（祝）

泉谷地区

泉谷小学校

九月二十八日（日）

※雨天の場合

十月五日（日）

各地区 伝言板

〓 誉田 〓

知的障害者更生施設の納涼祭にボランティア活動

社会福祉協議会誉田地区部会障害者委員会の呼びかけに、同ボランティア委員会、民生委員、町内自治会や学生、また地域住民も含め総勢二十八名が八月二日に開かれた施設の納涼祭に参加して喜ばれました。

施設利用の子ども達と盆踊りを楽しんだり、即席の母親代りとして世話をしたり、またゲームコーナーの手伝い、販売コーナー手伝い、無料の西瓜やアイスクリームを配る人、みなさん汗だくで支援しました。

初めてのボランティア活動で施設の子とも達に接して涙を流す人、言葉が通じず職員に通訳をお願いする人も、とにかく頑張りました。午後五時三〇分から八時三〇分まで！最後の打上げ花火には施設の子とも達と楽しく見学しました。

保護者、職員を含め約四三〇名

の出席の納涼祭でした。次は八月九日に別の施設にボランティアで参加しました。誉田地区では七月の七夕さま、十月のお祭り、運動会等も出来る限り高齢者、障害者、子ども達にも協力したいと思っています。

納涼祭の様子



〓 椎名 〓

今年も元気にみんなと会えました 椎名地区敬老会開催(九月十五日)

今年の七十歳以上の高齢者は昨年より二十九名増えて五七二名でした。

地区の発展に貢献された先輩方へのお礼のために敬老会が椎名小学校で開催されました。

また、八十歳以上の高齢者も昨年より十三名増え、一八五名で、

長寿番付表に記載して、お元気の「たより」として配りました。最高齢者は一〇一歳の女性(古市場町)の方でした。

〓 土気 〓

土気地区の催し物

◎ふれあい食事会

二会場 月一回

◎ふれあい・いきいきサロン

十一会場 月一回

◎ゆうゆう散歩クラブ

三会場 月一回

◎ふれあい・子育てサロン

一会場 月二回

◎十一月六日(木)

健康講演会「目の話」(地域住民対象)

◎十一月二十三日(日)

昭和の森ウォークラリー
(地域住民に呼びかけ)

◎来年二月

ボランティア交流会

〓 おゆみ野 〓

ふれあい・いきいきサロンは今年も年八回実施します。

二月には、ランチのつどいも計

画しています。

ふれあい・いきいきサロンの第一回は、五月八日、あんしんケアセンターから講師をお招きして、「健やかな老いを目指して」の講演会を実施しました。

第二回は、六月十二日、末広奇術会の皆さんによるマジックを楽しみ、引き続き、マジック教室を開き手軽に出来るマジックを教えていただきました。家に帰り、お孫さんに見せようと、にこやかな笑顔でお帰りになった方が多くいました。

第三回は、七月十日、地元の方をお招きし、ハーモニカの演奏を満喫しました。

子育てサロンは、年三回以上を目指して実施していきます。

子育てサロンの第一回は、五月二十七日、おゆみ野公民館で開催しました。「親子で遊びにきませんか？」の呼びかけに二十三名の方が参加。日頃の悩みを話し合ったり、情報交換をしたり、ママたちはリフレッシュして帰りました。地区部会で体重計を購入し、毎回体重計測が出来ます。どうぞ

ご利用ください。

平成二〇年三月に千葉市より発行された「平成十九年度千葉市地域福祉活動事例集」に掲載された緑区内の二団体の活動内容を報告します。



大椎台助け合いの会

土気駅から西に約1kmにある大椎台団地は世帯数約八五〇戸の戸建団地です。

昭和四十八年の入居開始から二十五年を過ぎて少子高齢化が顕著となった平成十年に住民有志の方々が「大椎台助け合いの会」を設立し、活動を開始して、現在の登録会員は大椎台自治会員のみで百名を超えています。

きっかけは、高齢化の進む中で、介護保険制度等のサービスを利

用するほどではないが、自分の力だけでは解決する事が困難な日常生活上の課題を、住民同士がお互いの力を出し合って助け合うことで解決しようと考えて始めました。

会のサービスマニュアルは、

①電話コール（二人暮らしの高齢者を対象に安否確認や話し相手）

②庭木の剪定や草刈

③家事手伝い（ゴミ出し他）

④送迎・付添い（車による通院・買物等）

今後更に高齢化が進む中、会員をふやし、「助けられたり、助けたり」をモットーに地域の輪を広げて行こうと頑張っています。

連絡先 大椎台自治会館内
電話 二九四―八一六八



すこやかネットみどり

「みんなで街を住みやすく！
支え合いの街づくり」

平成十四年七月に緑区あすみが丘に設立し、医療・福祉を中心とした「安心して暮らせるまちづくり」を目指すNPO法人で、五〇名以上のボランティアが協力してすこやかネットみどりの活動を支えています。

主な活動は平成十八年から始めた「福祉有償運送サービス事業」で、現在四十四名（八月末）の利用会員が登録している。土気周辺に居住する障害者や高齢者（要介護、要支援等）の移動困難な方を対象に、地元の医院や大学病院などに送迎するとともに、公共施設、買物等幅広く障害者や高

齢者の足として、活躍しています。

利用については、事前に「移送サービス利用会員」の登録（入会金千円）が必要、二日前までの事前予約となりますが、一コイン（五百円）から利用できます。

また、すこやかネットみどりが主催する、高齢者を対象とした「街の交流お食事会」や「家事救急隊」。地域の方を対象とした「パソコンクラブ」と「パソコン救急隊」。その他、地域のイベントに参加する活動を行っております。連絡先 すこやかネットみどり

電話 二九四―九五一一



◆◆編集後記◆◆

「みどりのきずな」の発行も三年目を迎えました。広報部会も緑区民の皆様に地域の様々な情報

を伝えるため、編集会議で話し合いを行っておりますが、情報源は限られ、皆様もご存知の情報に偏りがちとなります。読者の皆様にお知らせしたいホットな情報をお持ちの方の投稿を期待しております。今後の発行は、一月と三月の予定となっております。是非情報をお寄せください。(N)